

平成27年度 加賀市男女共同参画に関する 市民意識調査報告書

ダイジェスト版



加賀市では、家庭や職場、地域など様々な分野で、男女が共に支え合い、意欲に応じて活躍できる社会を実現するための取り組みを行っています。

本調査は、市民の男女共同参画に関する意識の現状を把握し、加賀市男女共同参画プランを見直す際の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画に関する施策に反映させていきます。

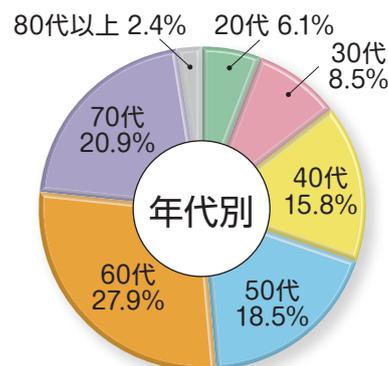
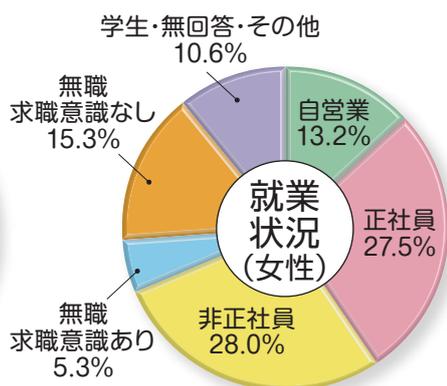
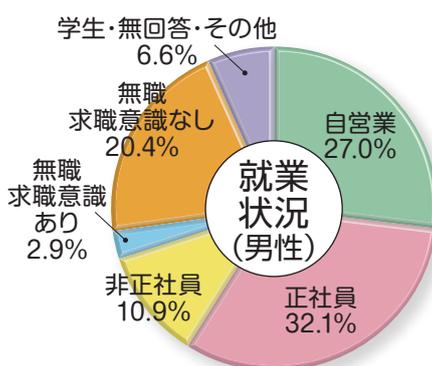
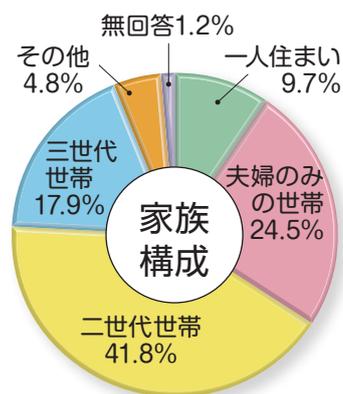
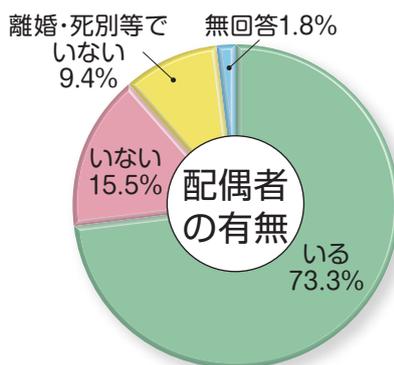
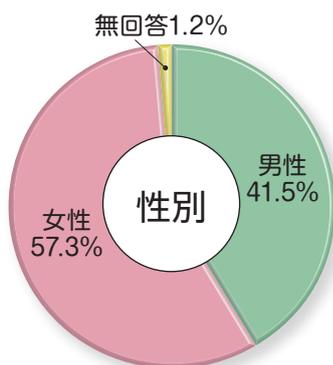
ダイジェスト版では調査結果の一部を紹介します。すべての結果は、市のホームページで公開しています。

【表の見方】

回答率は小数第2位を四捨五入しました。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の場合、比率の合計は100%を超えることがあります。



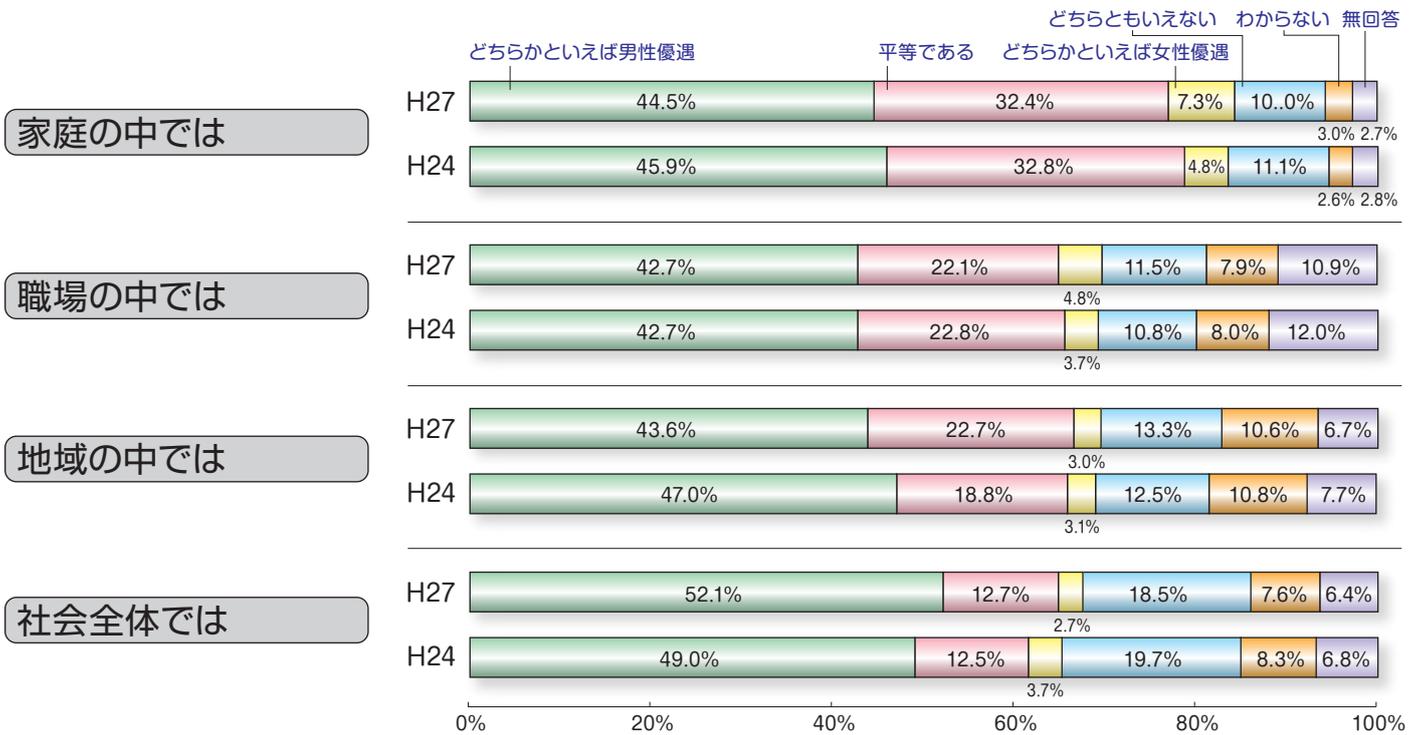
回答者の特徴



1 日本社会は男女平等になっていますか



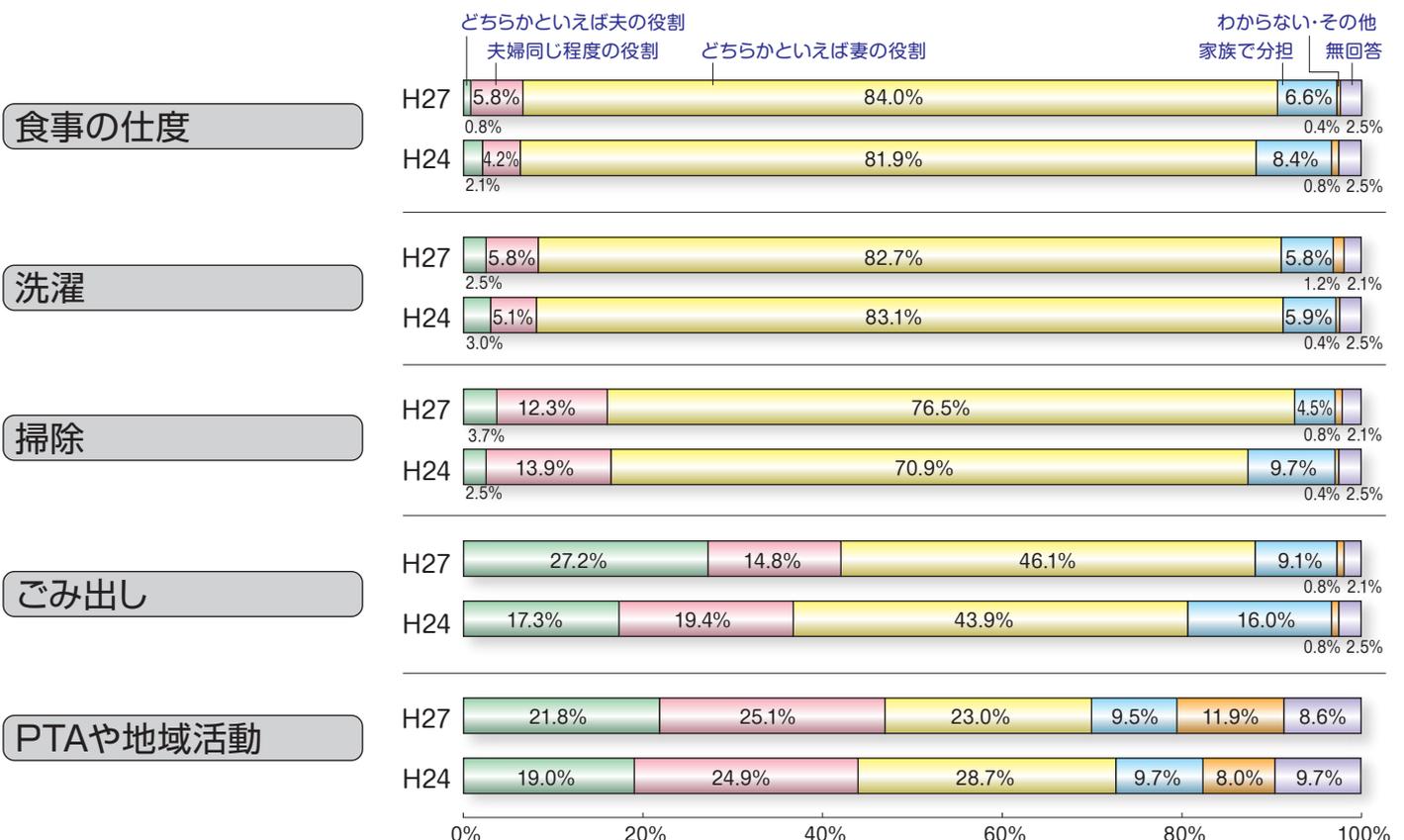
依然として、家庭、職場、地域、社会全体の項目すべてにおいて、「どちらかといえば男性優遇」が高い割合ですが、地域の中では、「平等である」の割合が増えました。



2 家庭では誰の役割になっていますか



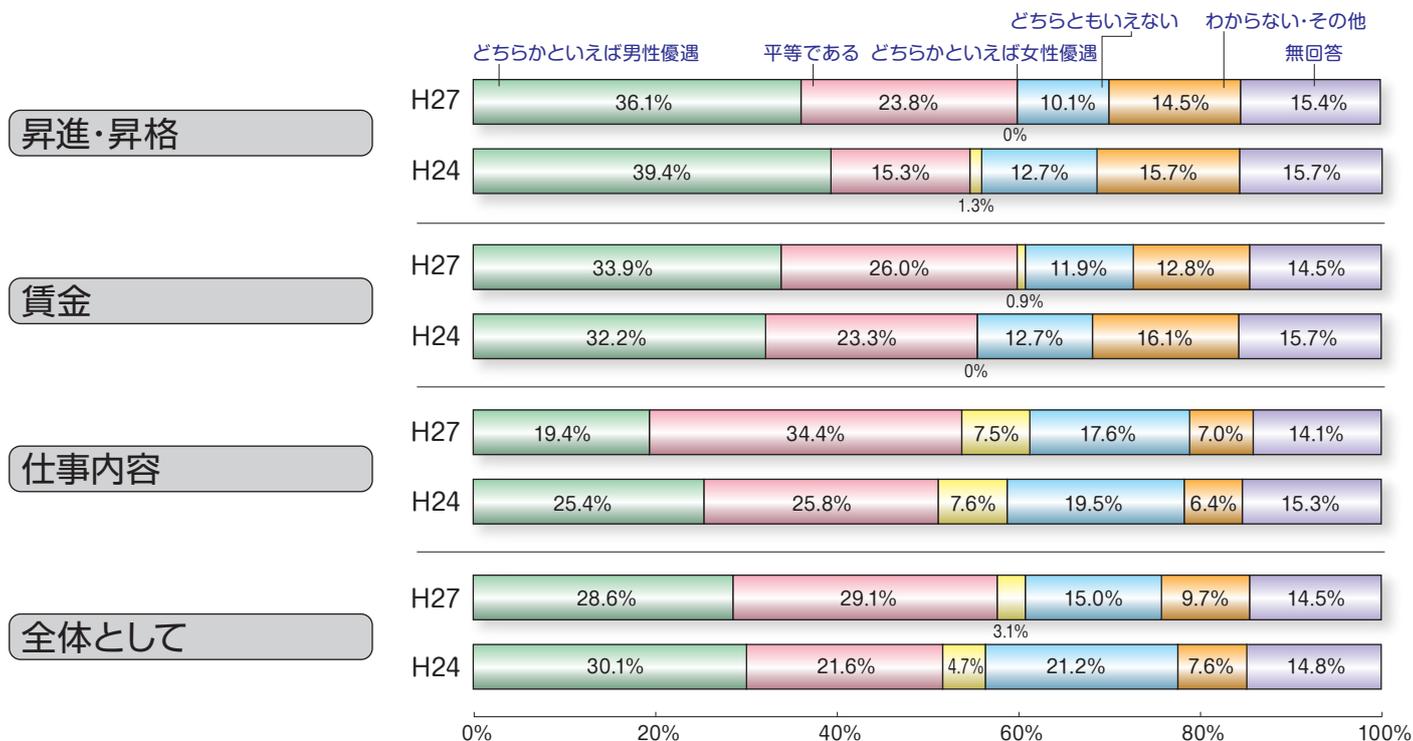
配偶者のある人に家庭内における役割を尋ねたところ、食事の支度や洗濯など日常的な家事の多くは「どちらかといえば妻の役割」でしたが、PTAや地域活動は、夫や家族と分担する割合が高く、「どちらかといえば妻の役割」は23%となっています。



3 職場では男女平等になっていますか

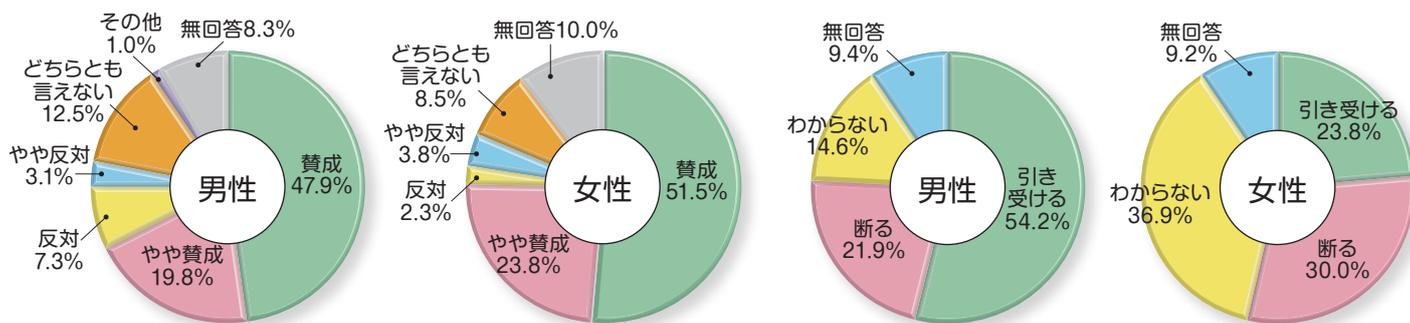


前回調査と比較しても大きな変化はなく、男女とも「平等である」と答える人は2割から3割程度ですが、前回よりも「平等である」の割合は高くなっています。

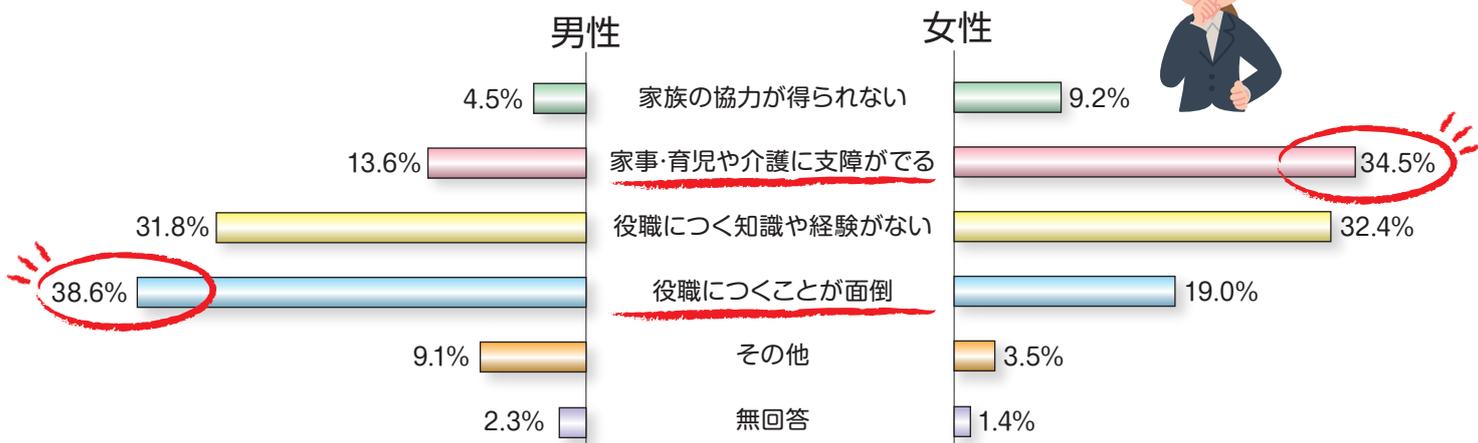


▶ 女性が管理職に就くことをどう思いますか (今回、新設した質問)

▶ あなたが管理職への昇進を打診されたらどうしますか (今回、新設した質問)

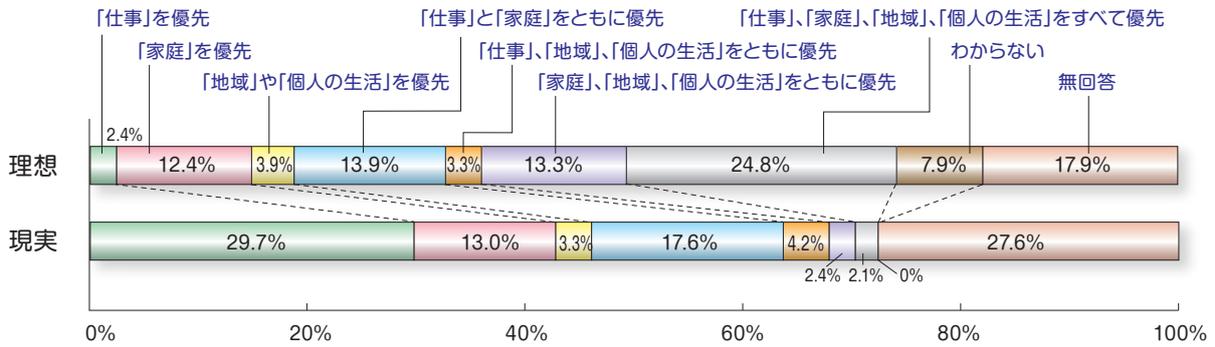


▶ 断る、わからないと答える理由は何ですか (今回、新設した質問)



4 「仕事」、「家庭」、「地域活動」、「個人の生活」の優先度は？

男女とも、理想では「仕事、家庭、地域、個人の生活をすべて優先」を選択する人が多いにもかかわらず、現実には「仕事を優先」する人が多いようです。



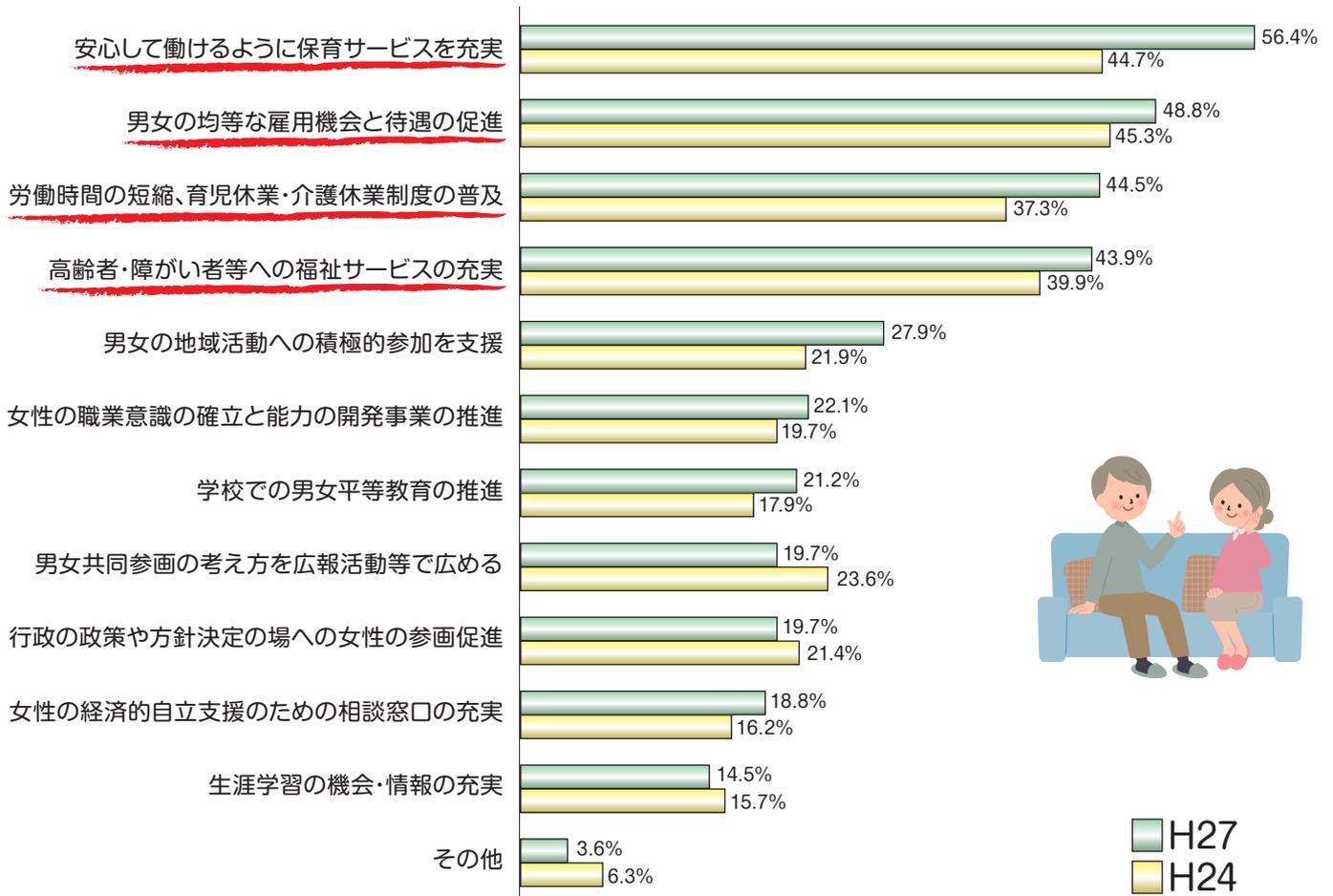
「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の大切さ

仕事は暮らしを支えますが、同時に家事や育児、地域活動なども、生活していく上では欠かすことができないものです。しかし現状は「仕事を優先」する人が多く、理想とする「仕事、家庭、地域活動、個人の生活をすべて優先」を実践できている人はごくわずかです。

理想に近づくための解決策のひとつが「ワーク・ライフ・バランス」。企業においては、生産性の向上や人材の確保等、個人には、暮らしの質や満足感が向上するなどのメリットがあります。



▶ ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要な対策は何ですか？



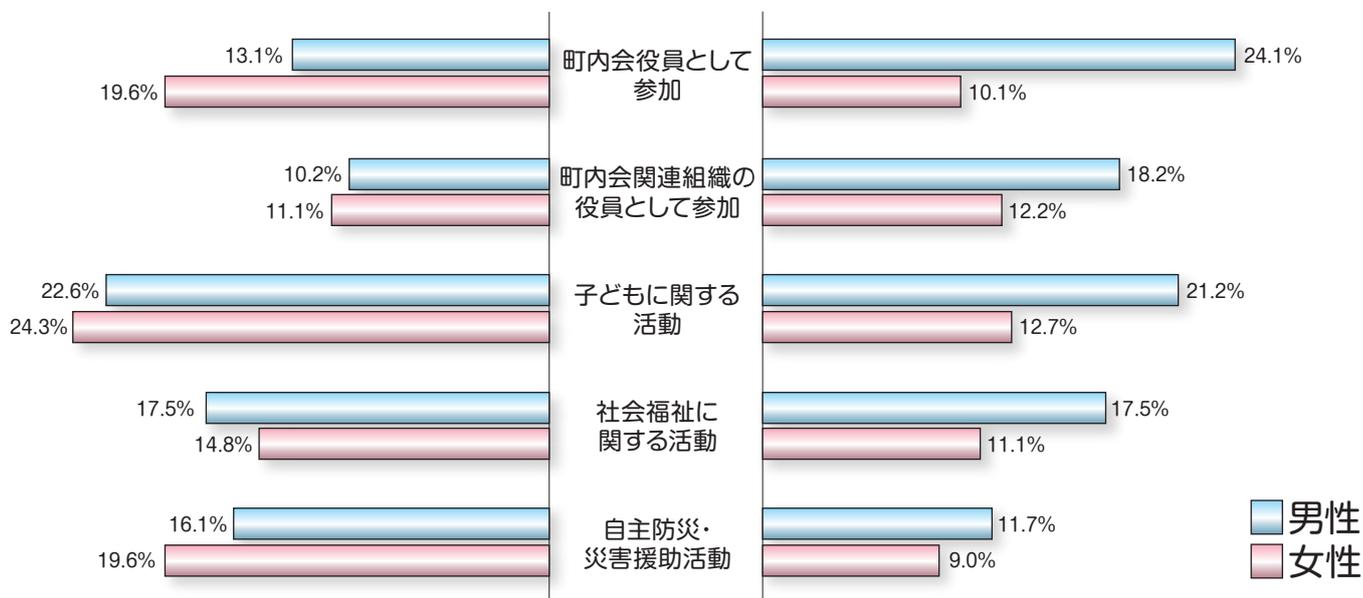
■ H27
■ H24

5 「男性に参加してほしい地域活動」、「女性に参加してほしい地域活動」は何ですか

男女で、それぞれに参加してほしいと思う地域活動の上位5項目は同じでした。「女性に参加してほしい地域活動」を見ると、男女で選択する項目に差があり、中でも「町内会役員として参加」では、女性の参加を望む男性が多く、女性の2倍以上の割合となっています。

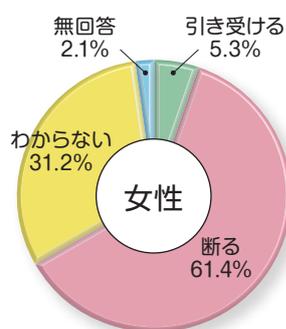
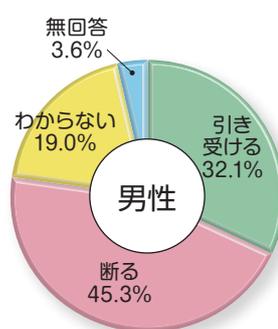
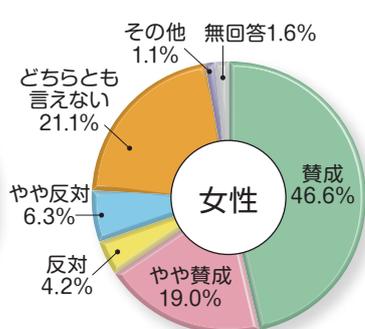
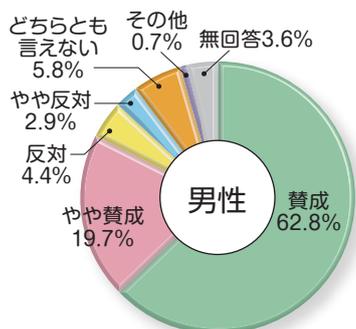
男性に参加してほしい活動(複数回答)上位5項目

女性に参加してほしい活動(複数回答)上位5項目

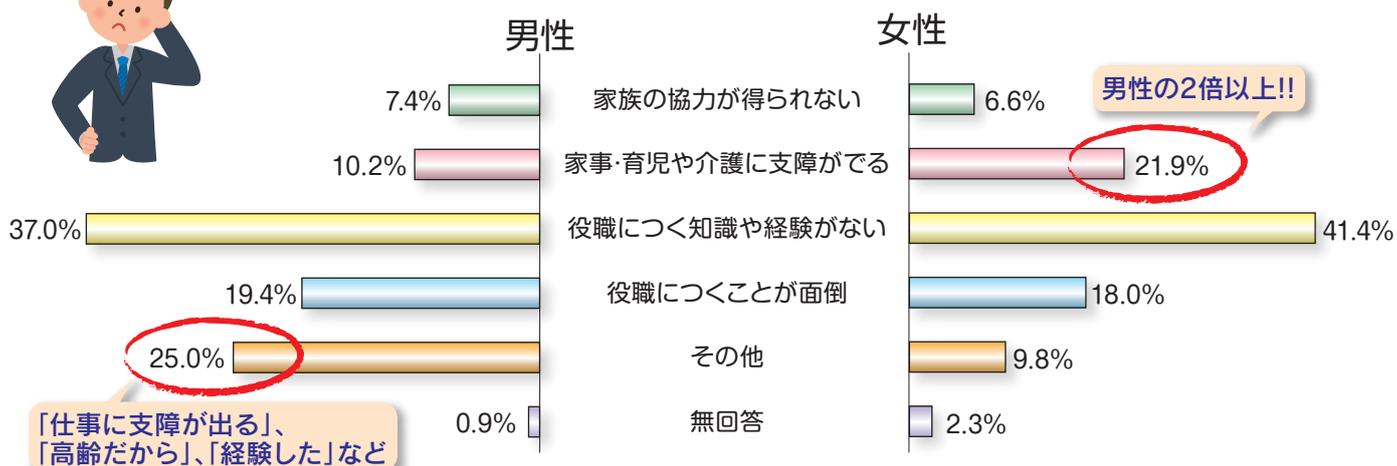


▶女性が地域の役職に就くことをどう思いますか (今回、新設した質問)

▶あなたが地域の役職に推薦されたらどうしますか (今回、新設した質問)



▶断る、わからないと答える理由は何ですか (今回、新設した質問)

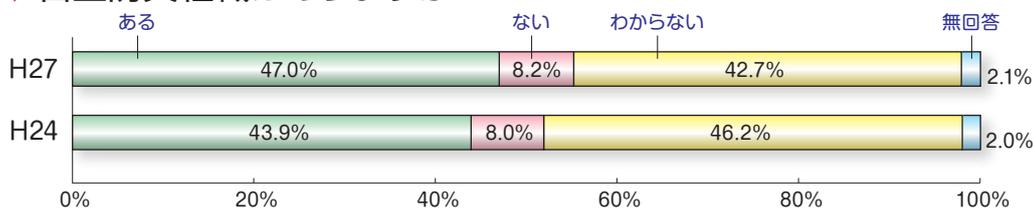


6 自主防災組織※・災害救助活動について

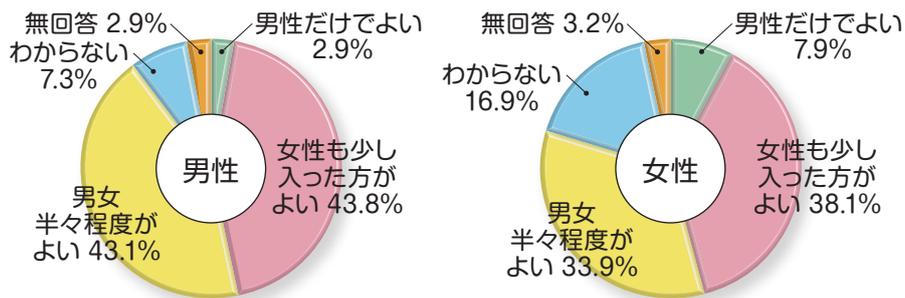
※自身の地域は自身で守るという観点から、各町単位で組織された任意団体

自主防災組織の男女比は、男女ともに、どちらも関わるのが望ましいと考える人が多いようです。

▶自主防災組織はありますか



▶自主防災組織の男女比はどのくらいが適当だと思いますか



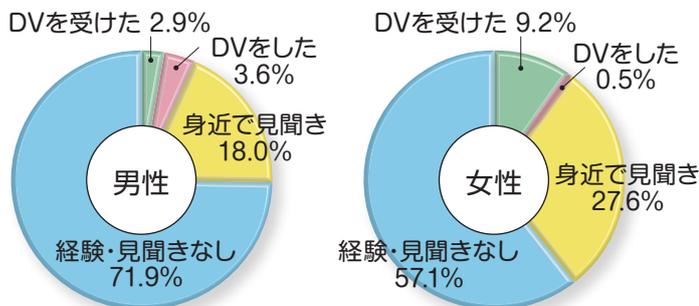
7 男女の人権について

DV※は、人権を侵害する許されない行為です。被害者の多くは女性で、公的な相談機関があるにも関わらず、多くの方が「知らない」と答えています。

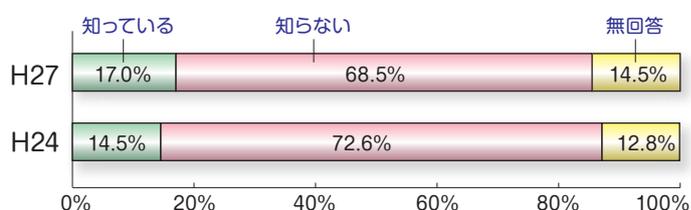
※DV=ドメスティックバイオレンスの略。配偶者や恋人などから身体的、性的な暴力を受けたり、言葉の暴力等によって精神的苦痛を感じたりすること



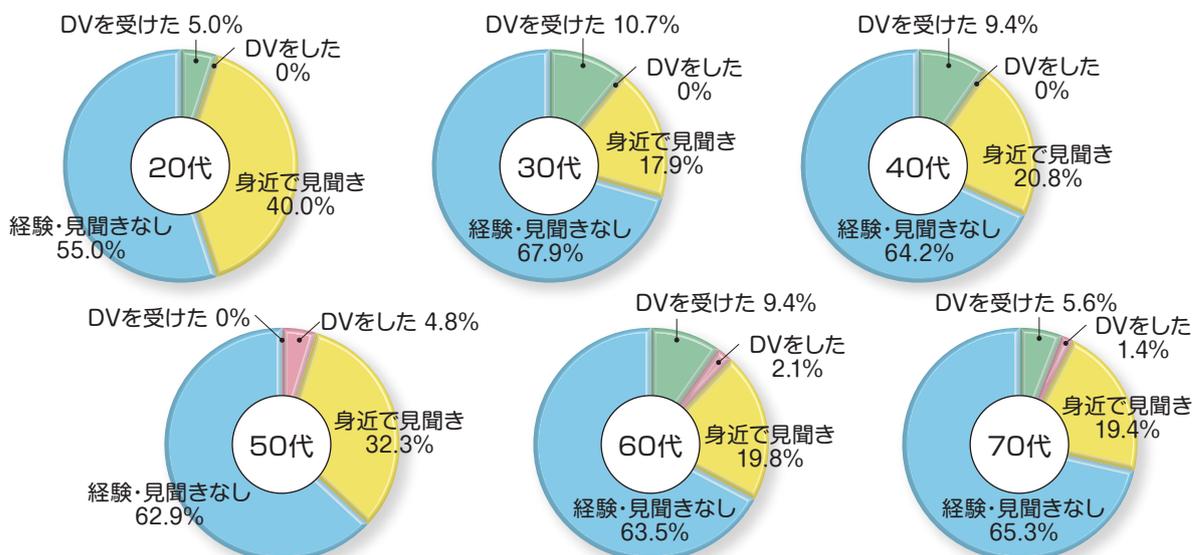
DVを経験、または身近で見聞きしたか



DVの相談先を知っていますか



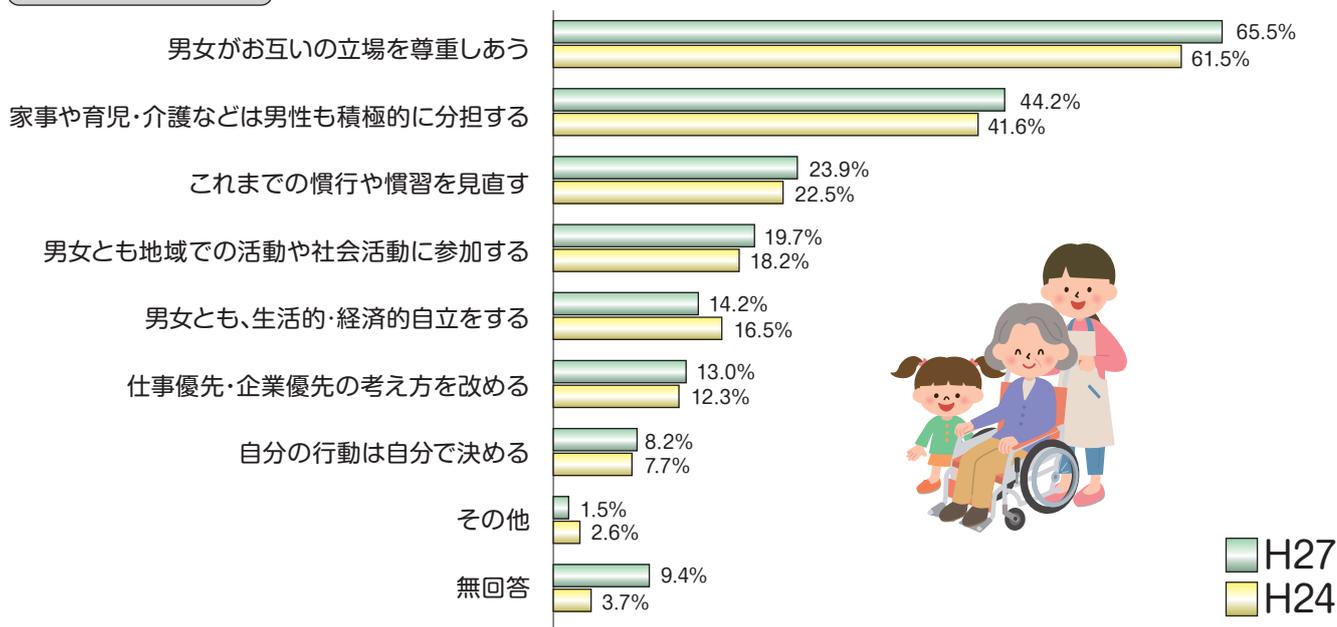
年代別



8 男女共同参画社会を実現するために必要なこと

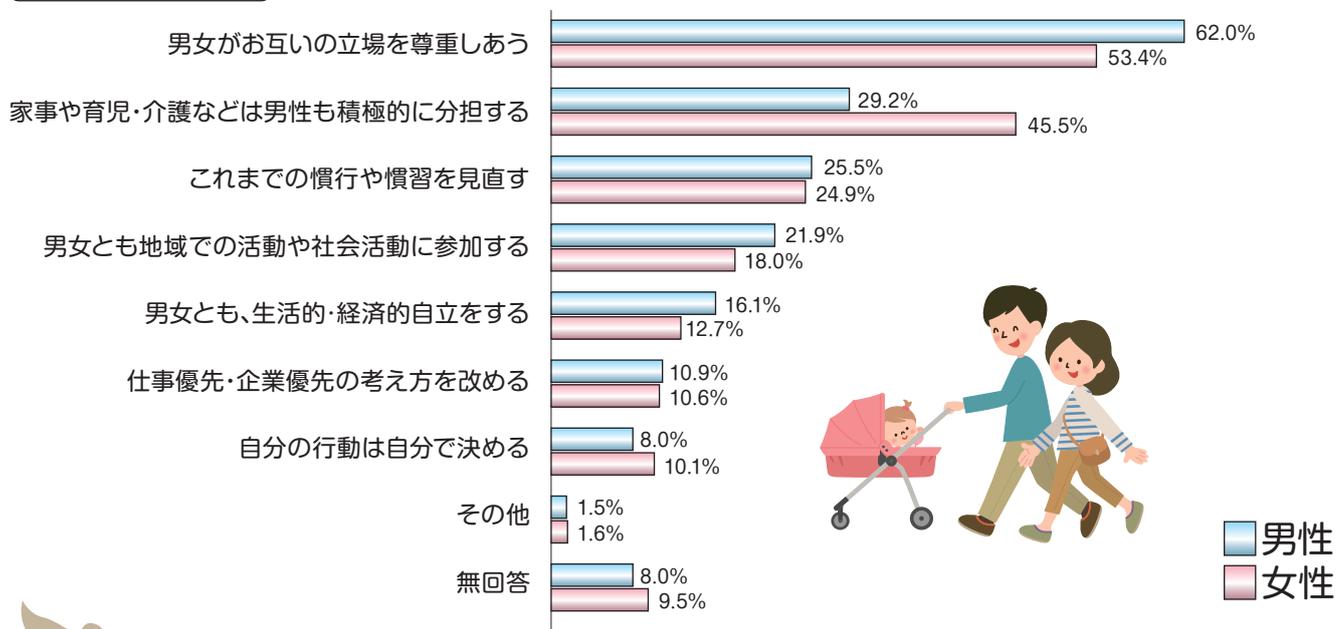
男女共同参画社会とは、「男性も女性も、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会」を言います。その実現に向けて必要なことは何かを尋ねたところ、上位3項目は、前回と同じ結果でした。

前回比(複数回答)



男女別でも上位3項目は同じですが、2番目に多い「家事や育児・介護などは男性も積極的に分担する」では、男女間で大きな差があり、約半数の女性が男性の積極的な分担を望んでいます。

男女比(複数回答)



「男性の家事力アップ」のすすめ

結婚後も働く女性が多い中、男性の積極的な家事参加を望む女性はとて多く、最近では「家事ができる男性」は婚活に有利と言われます。老若男女問わず「料理上手」は、好感度をアップさせる要素の一つではないでしょうか。

男性も家事を一通りできるようにしておけば、家族の病気やけが、災害時などの緊急時だけでなく、親の介護にも役立ちます。今まで「家事は妻にお任せ」だった人も、少しずつ家事を始めていけば、仕事に思わぬ効果をもたらすかもしれませんし、定年後の生活にも更に楽しみが増すでしょう。





今回の調査の概要

- 対 象** 市内に居住している20歳以上の市民1,000人を無作為抽出し、郵送法にて実施
- 調査期間** 平成27年7月30日～平成27年8月15日
- 有効回収数** 330通
- 有効回答率** 33.4%(前回の有効回答率 35.3%)
- その他** 詳細な結果報告書は加賀市ホームページにて閲覧できます。
HOME>産業・まちづくり>男女共同参画>男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書



▶DVに関する相談先

石川県女性相談支援センター・配偶者暴力相談支援センター

TEL 076-223-8655〔面接相談〕月～金 8:30～17:15

DVホットライン

TEL 076-221-8740 月～金 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00

レディース通話110番(県警本部)

TEL 076-225-0281 月～金 9:00～17:00

加賀市役所男女共同参画係

TEL 0761-72-7836 月～金 8:30～17:15(祝日・年末年始除く)

あいりす女性相談室

TEL 0761-73-5527 火 12:30～15:00(祝日・年末年始除く)

▶その他の問い合わせ先

就労に関する男女の均等取扱い・仕事と家庭の両立等に関すること

石川労働局 雇用均等室

TEL 076-265-4429

FAX 076-221-3087



編集・発行

加賀市役所 地域づくり推進課 男女共同参画係

TEL 0761-72-7836 / FAX 0761-72-7923

E-メール danjo@city.kaga.lg.jp

平成28年3月